

製品名: IRAK (15J6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12724**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:50-1:200
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	IRAK1
別名	Il1rak; IRAK; Irak1; IRAK1-S; mPLK; Pelle; Pelle homolog; Pelle-like protein kinase; Plpk;
遺伝子 ID	3654.0
SwissProt ID	P51617
免疫原	ヒト IRAK の組み換えタンパク質

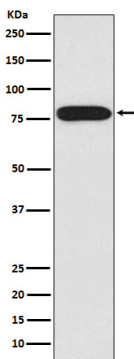
背景

IL-1 の関与後、IL-1 I 型受容体に結合し、細胞内シグナル伝達カスケードを誘導して転写の上方制御と mRNA の安定化を誘導します。外来病原体に対する自然免疫応答の開始に重要な役割を果たすセリン/スレオニンタンパク質キナーゼです。Toll 様受容体 (TLR) および IL-1R シグナル伝達経路に関与しています。TLR 活性化時に MYD88 によって受容体シグナル伝達複合体に迅速にリクルートされます。MYD88 との結合により、IRAK4 による IRAK1 のリン酸化が誘導され、続いて自己リン酸化とキナーゼ活性化が起こります。E3 ユビキチンリガーゼであるペリノタンパク質 (PELI1、PELI2、および PELI3) をリン酸化し、ペリノを介した IRAK1 のポリユビキチン化を促進します。次に、IKBKG/NEMO のユビキチン結合ドメインがポリユビキチン化された IRAK1 に結合し、IRAK1-MAP3K7/TAK1-TRAF6 複合体と NEMO-IKKA-IKKB 複合体を形成します。次に、MAP3K7/TAK1 は IKK (CHUK/IKKA および IKBKB/IKKB) を活性化し、NF- κ B の核移行と活性化を誘導します。あるいは、TIRAP をリン酸化してユビキチン化とそれに続く分解を促進します。インターフェロン調節因子 7 (IRF7) をリン酸化して活性化と核移行を誘導し、その結果、I 型インターフェロン遺伝子の転写が活性化され、細胞を抗ウイルス状態に誘導します。SUMO 化されると、核移行し、STAT3 をリン酸化します。

研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;Toll 様;神経栄養因子;

画像データ



HeLa 細胞溶解物における IRAK 発現のウェスタン ブロット分析。